

2016年7月6日

株式会社農林漁業成長産業化支援機構（A-FIVE）への出資について

明治安田生命保険相互会社（執行役社長 根岸 秋男）は、7月6日、株式会社農林漁業成長産業化支援機構（以下、エーファイブA-FIVEという）に1億円を出資しました。

当社は、「CSR経営宣言」において、お客さまとともに安心して豊かに暮らせる「社会」や「環境」を育み、守っていけるよう、社会貢献や環境保全活動に積極的に取り組んでいくことを宣言しています。

A-FIVEは、農林水産業の6次産業化を支援するために国と民間企業が共同出資し設立された官民ファンドであり、国民の食と生活・健康・環境・地域を育てる農林水産業の成長産業化、ひいては地域経済の活性化をめざすことを理念としています。

今回の出資は、このA-FIVEの理念と、全国47都道府県のすべてに事業拠点を有し、各地域のお客さまに保険商品・金融サービス等を提供している当社の「地域社会の活性化への貢献」という理念との間に相通じる部分があると考え、行なうものです。

また、当社は、3ヵ年計画「明治安田NEXTチャレンジプログラム」（2014年4月～2017年3月）における重点実施事項の一つとして、政府が進める「日本再興戦略」を後押しする観点から成長分野への投融資を推進しています。

この一環として、2015年度から、事業内容や成長可能性等に重点を置いた農林水産関連分野向けの融資の取組みを開始しています。地域金融機関とも連携しながら、農業生産法人や6次産業化事業体などのお取引先拡大に向けた活動を行っており、2016年度はこうした取組みをいっそう強化する方針です。

農林水産業の成長産業化および地域経済の活性化をはじめとする「地方創生」は「日本再興戦略」における重要なテーマであり、当社は、全国のネットワークを活かし、金融仲介機能の発揮等を通じて「地域社会の活性化」に広く貢献していきます。

○農林水産業の6次産業化とは

農林水産物の生産（第一次産業）を行なう農林水産業者が、加工（第二次産業）や流通・販売（第三次産業）も手掛けることで、農林水産物の付加価値を高めるとともに経営の多角化を進める取組み。6次産業化の進展により、地域の雇用確保や所得向上を通じた農林水産業の成長産業化および地域経済の活性化が期待されている

以上

【株式会社農林漁業成長産業化支援機構の概要】

名称	株式会社農林漁業成長産業化支援機構 (英名 : Agriculture, forestry and fisheries Fund corporation for Innovation, Value-chain and Expansion Japan)
所在地	東京都千代田区大手町 1-5-1 大手町ファーストスクエア ウェスト 20 階
代表者の役職・氏名	代表取締役社長 光増 安弘
設立年月	2013年1月
根拠法	株式会社農林漁業成長産業化支援機構法
出資金 (2016年3月31日現在)	318億円(政府出資300億円、民間出資18億円)
事業内容	6次産業化事業体等に対する間接出資、直接出資、資本性劣後ローンの提供等